



平成14年7月20日発行 (年2回刊)

〈教育後援会だより〉
しおかせ

発行/明海大学浦安キャンパス教育後援会
〒279-8550 千葉県浦安市明海8
電話 047-355-5112 FAX 047-355-5117



2002年度評議員会開催

今年度の事業計画、予算を審議

ペイオフ対策、奨学金制度の見直しなど、課題も山積み

6月1日(土)、第2管理研究棟3階会議室で2002年度教育後援会評議員会が開かれた。高倉翔学長をはじめとする教職員らの臨席の下、新評議員を含む67名が出席して、昨年度の事業報告や決算報告、そして今年度の事業計画や予算などについて審議を行った。新役員も決まり山内新会長の下、今年度の活動がスタートした。

学生支援を重点に置いて活動

2001年度を総括

審議にさきかけて教育後援会の中田俊一会長は「昨年度は厳しい経済状況が、教育後援会の活動にも影響した1年間だった」と振り返り、ペイオフ問題や、保護者のリストラによって、教育後援会の奨学金貸付

が大幅に増加したことなどを話し、「学生支援という姿勢を崩さずに、大学と連携をとって諸問題に対処していきたい」とあいさつ。続いて大学側を代表して高倉翔学長が、「大学の経営が厳しい状況にあるが、

どの大学が経済的に淘汰されるかということより、大学進学希望者から淘汰されてしまうことの方が深刻」と述べ、「教育サービスの質を魅力あふれるものにするのを主眼において、明海大独自の対応でチャレンジしたい。また、それができるのも教育後援会のバックアップがあればこそ」と話した。その後、中田会長が議長を務めて議事へと移った。

まず大学側から、今年度の学年暦、入試結果、在学生数、学生支援、就職状況・就職指導など学務報告された。今回は特に昨年度、設置された学生支援室の鈴木主幹が、学生支援について説明。新入生クラスミーティングや授業欠席状況調査など、昨年の主な取り組みを説明。1年間で延べ1000件の相談を受けたことを報告した。

次いで審議に移り、まず、山内新会長をはじめとする新年度の役員が全会一致で承認され、今年から評議員となった新幹事が紹介された後、2001年度の実業報告と決算報告が行われた。昨年度は、約1億8700万円の収入があり、関東、北陸、東北、東海と4地区で地区父母懇談会を開催したほか、他大学の施設や運営を視察調査するために、立命館大学での研修を実施。また、長期留学生や短期海外研修への援助や、学内企業セミナー、資格取得講座、キャリアハンドブックの制作、就職対策への援助、学生ロビーにイスを設置するなどの施設設備への援助等、25項目の実業を行い、約1億4700万円の支出があった。

なお、ペイオフ対策として、定期預金になっていた積立金や繰越金は、すべて普通預金に移したことが、事務局から報告された。



会長あいさつ

教育後援会会長 山内 薫

〈基本姿勢〉

人生は出会いと別れの繰り返る縄の如くであり、教育後援会も毎年5名の役員を新たに迎え、ほぼ同時期に5名の役員を送り出してまいります。

集まり散じて人は変わりますが、明海大学と教育後援会の恒久的発展を願うという使命感を持って集まった人々との「二期一会」を何よりも大切にしたいと思っております。

教育後援会の役員は、年齢・性別・職業やそれぞれが持っている価値観、バックグラウンドが違います。特に多くの役員は他に本職を持ち、仕事で忙しい人が多く、教育後援会の仕事は一種のボランティアだからといってエクスキューズしてしまう例がたまにみられます。

確かに、労多くして割に合わない役回りと思われる時もあるかと思いますが、大切なプロジェクトを皆の協力で達成した時の喜びは何物にも換えられません。大事なことは、大学・教育後援会・学生達にとって何が利益なのかを考え、激変する環境の変化に対応しながら、今後数年先を見越した中長期的視野に基づいた大局観をベースにしながら、目下の物事を処理していく姿勢を持つことだと思っております。

①現在、明海大学と同窓会はインターネットのホームページを開設しておりますが、教育後援会のホームページは開設されてお

りません。本年度よりその開設準備に取り組み、できるだけ情報の開示ができるようコンテンツの充実を努めてまいります。

②現在、大学では学位記授与式において、成績優秀者に対する「宮田賞」等の表彰制度がありますが、教育後援会としての表彰制度を創設し、学業だけでなく多方面にわたって貢献のあった個人・団体等を表彰していきたいと考えており、その具体的内容の検討を進めてまいります。

〈本年度の課題と予算〉

前記事業計画の検討推進の他に①ペイオフ対策による資産の運用方法をしっかりとらしたポリシーのものに構築すること、②このまま推移すると早晩破綻をきたすことになるであろう現行奨学金貸付、返済制度の見直し等に取り組みで参ります。ペイオフ問題の基本理念として、限りなく絶対安全なローリスク、ローリターンに徹することが肝要と考えられております。

本年度の教育後援会の予算編成上においての主要な留意点としては、本年度より会費の値下げを実施したことにより対前年予算比マインス2000万円の収入減が見込まれ、必然的に、学生生活支援積立金をはじめとする特別会計への繰出金をゼロとしたこと、その反面、学生関係活動対策費等は絶対額は減少したけれども、収入に対する事業費比率は上昇したことあります。

最後になりましたが、会員の皆様方のご指導ご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

2002年度明海大学浦安キャンパス教育後援会事業計画及び援助計画

〈教育後援会主体事業〉

1. 地区父母懇談会の開催 (4地区)
2. 教育後援会だより「潮風」の発刊 (年2回)
3. 教育後援会奨学金の貸与 (学部学生、留学生)
4. 学生への住宅相談、紹介 (借上集合住宅等)
5. 卒業生記念品の贈呈
6. 卒業アルバムの贈呈
7. 国内外大学施設等視察調査研修
8. 長・短期留学生奨学制度
9. 学生の慶弔に関すること
10. IT (後援会HP開設準備)
11. 教育後援会表彰

〈学生の自主的活動 (団体) への援助〉

1. 部・サークル等課外活動団体 (学友会) への援助
2. 学園祭への援助
3. 学友会サマーキャンプへの援助
4. 学友会委員会リーダーズ研修会への援助
5. 新入生歓迎会への援助
6. 留学生連合会主催行事への援助 (お月見パーティー、留学生ウエルカムパーティー、ワールドピースフェスティバル、中国、韓国学生会主催交流会)
7. 課外活動団体等の大会出場への補助
8. 契約施設利用者への援助 山の家 (アルパイン)、日本エアロビクスセンター、ヤマハリゾートつま恋
9. 卒業パーティー実施への補助
10. 卒業アルバム制作費の援助

〈実施事業協力援助〉

1. 大学間協定による学生交流に伴う派遣学生への補助
2. 大学広報紙「MEIKAI」の増刷送付の援助
3. 就職試験対策セミナー等への援助
4. 学校施設整備及び学生食堂への援助
5. 少人数教育、学部研究費への援助
6. 部・サークル活動顧問教師への援助
7. 部活動コーチ、トレーナー等への援助

就職対策費をさらに厚く

2002年度事業計画

この日提案された新年度の事業計画は別表のとおりで、28項目にわたる事業が提案され、満場一致で承認された。新規の事業としては、教育後援会のホームページ開設準備、昨年度視察を行った立命館大学で実施されている、学生に対する表彰制度の導入が予定されている。



0万円と比べると20000万円の減額となる見込みで、全体的に予算カットの傾向。ただし、就職対策費、部活動等協力費、施設設備支援など学生に対する支援では前年の予算を維持、増額となったものもある。

支出は教育後援会だより発行、地区父母懇談会の開催、国内外の大学現況調査研修など、組織対策費として2240万円。学園祭の援助、学食の補助など全学行事援助費、部活動の協力費、教育・研究補助、卒業アルバム制作費援助、就職対策への補助、長期・短期留学を補助する学生交流奨学金、奨学金事業繰出金など学生関係活動対策費が1億1680万円となっている。特に就職対策費は昨年度より500万円多い1000万円が計上されている。このほか、会議費に35

均整のとれた《知の三角形》

学長 高倉 翔



今日、「大学の在り方」、ないし、「大学改革」に関連して、「教育の役割・機能」がこれまでになく強調されております。

すなわち、①少子化の進行と大学進学率の向上によって、大学が「マス化」し、さらに、「ユニバーサ

ル化」してきたこと、及び、②納税者や学費負担者などに満足していただけた結果をもたらし責任（アカウンタビリティ）が強調されてきたことから、「教育」の面が重視され、「魅力ある教育サービスの提供」が最大の課題とされておりま

す。明海大学では、今年度から、このような《教育サービスの提供》のために「カリキュラムの構造転換」を図りました。従来の、教育・基礎教育などを中心

とした第一・二系列、及び、専門教育の第三系列という区分から、「①リテラシー教育プログラム、②課題探求プログラム、③専門主専攻プログラム、④副専攻・キャリアアッププログラム」という新しい区分への「構造転換」です。このことは、「変化への挑戦」としての「カリキュラム改革」といえます。

明海大学では、絶えず、カリキュラムの見直しを行っております。これに対して、「朝令暮改」である

といった批判の声が聞かれるのも事実です。しかし、私は、「変化への挑戦」としての「カリキュラムの《進化》である」と確信しております。

ところで、大学の役割・機能につきましては、従来「教育」と「研究」が中心的なものとされ、近年になって、第三の機能として「社会貢献」が登場してきました。また、日本の大学では、「研究」の面が極端に重視され、「教育」の面は軽視されてきました。

「教育」の面を重視することは、繰り返しますが、大学の今日的な課題です。しかし、大学にとって重要

なことは、①「知」の創造（研究）、②「知」の継承（教育）、③「知」の活用（社会貢献）のバランスをとることでしょう。

「均整のとれた《知の三角形》」が求められているのです。その場合、「教育」重視の観点から、「研究」は「教育の必要条件ではない」が、十分条件ではないことを深く認識しなければなりません。

明海大学における《魅力ある教育サービスの提供》と《知の三角形》の充実のために、大学のイコールパートナーとしての教育後援会の力強いご支援をお願い申し上げます。

7月24日	前期授業終了	12月24日～2003年1月9日	冬期休暇
7月25日～31日	前期試験	1月10日	後期授業再開
8月1日～9月23日	夏期休暇	1月22日	後期授業終了
9月2日～7日	前期追・再試験	1月23日～31日	後期試験
9月20日	9月卒業学位記授与式	2月1日	春期休暇開始
26日	後期授業開始	2月12日～14日	後期追・再試験
11月2日～4日	明海祭	3月3日	卒業予定者発表
		3月22日	学位記授与式
		3月28日	進級者発表
		3月31日	学年終了

効果的な奨学金制度の運用を望む

評議員から積極的な意見も

決算報告、予算案が示されたあとの質疑では、活発な意見のやりとりが展開された。

評議員から「奨学金事業繰出金」の予算が、昨年度500万円から180万円に減った理由を尋ねる質問が出た。

事務局が、「奨学金は5000万円の基金をもとにした特別会計で支出している、これまで年間に5、6件ほどしか希望がなかった。

奨学金が、昨年度は約80件と急激に増えているが、無尽蔵に使えば他の各事業に影響する。制度の見直しなどを行い、基本基金の中で運営できるようにしたい」と説明すると、「せっかく明海大に入った学生が、経済的な理由で退学しなくてもすむよう、奨学金の制度をきちんと運用してほしい。足りなければ増額することも考えるべき」との要望が出された。

盛り上がった懇親会 中田前会長らに感謝状



評議員会終了後、会場をレストラン・ニューマリンドに移して、懇親会が開かれた。山内新会長のあいさつと、役職幹事としての4年の任期を終えた中田俊一さん、酒井正幸さんに感謝状が贈られた。

会長を務めた中田さんは、「ペイオフ問題の浮上など、経済状況の悪化で、これまでの運営システムを見直す時期にきている。新しく役員になられた方は、たいへんだと思うが、がんばってほしい。前副会長の酒井さんは、「昨年、研修でニューマリンドに行き、海外の教育現場を視察したことが印象深い。役員を務めて、さまざまな経験ができた」と4年間の感想を話した。

乾杯の後は、

途中、一番遠方の大分県から参加した吉高久人さん、中村宏道さんがスピーチ。初参加の吉高さんは「明海大のキャンパスを見て、あまりの立派さに驚いた。子供には充実した環境の中で勉学に励んでもらいたい」、2年生の中村さんは、「保護者に成績を通知するなど、大学側のきめ細かいサービ

スに感謝している」と明海大の印象を話していた。



中田前会長が名誉会員に



1年間にわたって教育後援会の会長を務めた中田さんが、教育後援会の名誉会員に推薦され、満場一致で承認された。

新役員の名簿が決定

- 《2002年度新役員》
- △会長 △山内 薫 △副会長 △矢野日出子、大塚博行、横濱孝雄 △会計 △石井満枝 △監事 △田中治江、伊藤恵子
 - ▽幹事 △仲田建治郎、大石澄子、吾郷真知子、白井康男、高橋里子、加藤真知子、奥山藤雄、滝口正孝、杉森和昭、佐々木守、醍醐紀美
 - △新評議員 △横山谷子、宇田川芳子、熊坂忠一、澤口敦、佐々木守、杉森和昭、元宮臣雄、醍醐紀美子、横山谷子、小川敏史、宇田川芳子、藤田美智子、天達正明、佐藤静司、渥美隆一郎、松井浩美、吉高久人
- 敬称略

地区懇談会にぜひご参加を!

父母と教職員が交流 『地区父母懇談会』

今年も9月21日(土)の東北地区に始まり、北陸・関東・東海の4地区で開催!
東海地区は初めて清水市にて行われる。

今年で8年目を迎える地区懇談会。父母と大学の先生方が一同に会し、親しく懇談できる場として、参加者からは「大学の様子が少しでもわかり参加してよかった」「個別面談が大変よかった」「大学が身近に感じられた」など、満足の声が上がっている。

地区懇談会の内容は、教授による講演や父母と学科担当教員による個別面談。そして懇親会が開かれる。この他、就職指導や学生支援室の相談コーナーも設けられ、学生生活全般にわたる相談も受けている。



特に個別面談では、子どもの試験結果と履修科目表を資料に行われるので、成績や学習態度など具体的な内容の話ができ「今までは子どもからの一方的な情報しかなく不安な部分もありましたが、先生と直接話をするのができ、子どもの様子もよくわかりました」と多くの方が参加してよかったと話してくれました。ぜひお近くの会場にご参加ください。

※詳細についてはご連絡いたします。

『2002年度地区父母懇談会日程』

- 9月21日(土) 東北地区父母懇談会 (福島市)
 - 会場 福島ビューホテル
 - 10月13日(日) 北陸地区父母懇談会 (新潟市)
 - 会場 オークラホテル新潟
 - 10月26日(土) 東海地区父母懇談会 (清水市)
 - 会場 ホテルサンルート清水
 - 11月9日(土) 関東地区父母懇談会 ※2年次父母対象 (浦安市)
 - 会場 明海大学浦安キャンパス

4年間を振り返って

「咲く花はひとりでは咲かない 緑を感じて……」

この4月、京都大原三千年を訪れたとき、私自身が何かを感じるころがあった。手帳にメモした言葉です。私の今までの人生を振り返ると、妙に心深く響いてきたのです。これが旅情というものかも知れません。さて、教育後援会も「咲く花」に似ています。幹事役員が中心となって活動しますが、評議員と会員の皆様のご理解とご協力によって、成り立ちます。また教育後援会役員OBのご助言は貴重です。

前会長 中田俊一

さらに大学教職員の先生方と事務局職員の強力なご支援がなければ、一歩も教育後援会活動は進みません。4年間の後援会活動を何とか卒業した私ですが、只々感謝の気持ちでいっぱい입니다。ありがとうございます。

浦安キャンパス教育後援会が4年間お世話になりました。ありがとうございます。振り返ってみると、10周年記念事業で、しだれ桜やグラウンドへの日よけ、図書館への映像ライブラリーなどを寄贈しました。また、日頃から学生がお世話になっている地元自治会や病院、警察などの方々を招き、表彰を行なったことが思い出になっています。

前副会長 酒井正幸

3月23日(土)、学位記授与式の後、ヒルトン東京ベイ「クリスタル」で卒業パーティーが開催された。開宴に先立ち宮田侑理事長は「明るい海と書いて明海大学。海とは外国、国際社会を指します。国際社会をフィールドに、社会で活躍されることをお祈り申し上げます」と挨拶。

前常任幹事 長谷川洋子

教育後援会の中田会長は、盛り上がりの中、料理を囲みながら学生最後の時を楽しんだ。学生時代を振り返って、「仲間のことを思いやる心の大切さを知った」とラクロス部の学生たち。

日本語学科の学生は「オーストラリアへの留学、みんなのディスカッションなど、学生時代に起こったことの全てが楽しかった。そしてなにより勉強の楽しさを感じることができた。これからも更に勉強を続けて、日本語教師として頑張っていきたい」と意気込みを話した。

未来に夢を…宇宙をテーマに

明海大学浦安キャンパス2001年度卒業パーティー

3月23日(土)、学位記授与式の後、ヒルトン東京ベイ「クリスタル」で卒業パーティーが開催された。開宴に先立ち宮田侑理事長は「明るい海と書いて明海大学。海とは外国、国際社会を指します。国際社会をフィールドに、社会で活躍されることをお祈り申し上げます」と挨拶。教育後援会の中田会長は、盛り上がりの中、料理を囲みながら学生最後の時を楽しんだ。学生時代を振り返って、「仲間のことを思いやる心の大切さを知った」とラクロス部の学生たち。日本語学科の学生は「オーストラリアへの留学、みんなのディスカッションなど、学生時代に起こったことの全てが楽しかった。そしてなにより勉強の楽しさを感じることができた。これからも更に勉強を続けて、日本語教師として頑張っていきたい」と意気込みを話した。



「目的意識をしつかりとつた学生と出会え、有意義だった」との意見が多く聞かれ、ほとんどの学生が就職に対して前向きでいることを確認できた反面

「この時期にして、まだ就職の準備が出来ていない学生もいるようです」との意見も聞かれた。就職観や労働意欲に対する学生の差があるようだ。

「この時期にして、まだ就職の準備が出来ていない学生もいるようです」との意見も聞かれた。就職観や労働意欲に対する学生の差があるようだ。

「この時期にして、まだ就職の準備が出来ていない学生もいるようです」との意見も聞かれた。就職観や労働意欲に対する学生の差があるようだ。

「この時期にして、まだ就職の準備が出来ていない学生もいるようです」との意見も聞かれた。就職観や労働意欲に対する学生の差があるようだ。

「この時期にして、まだ就職の準備が出来ていない学生もいるようです」との意見も聞かれた。就職観や労働意欲に対する学生の差があるようだ。

学内企業セミナー2002 part2



学事課(就職支援)では「大学への求人は、夏以降も継続して届いています。就職活動継続中の学生諸君は、ぜひ相談にきてほしい」と語っている。

委員長に聞く

学生会中央委員会
委員長 武内瑞季さん



中央委員会としては、9月4日～6日に行われるサマーキャンプを成功させるために色々準備をすすめています。

今年度は、10年後の明海大学のテーマのもと学生、教職員など300人が参加して話し合う予定です。

日本人学生や留学生、教職員がこれだけ集まる機会はないと思います。ぜひこの機会に仲良くなってもらいたいと思っています。

お願いですが、どの委員会も人手不足で困っています。もちろん無理をいったりはいけませんし、学業優先でかまいませんので、課外活動にできるだけ参加してください。

体育会連盟会

会長 坂田騰文さん



体育会連盟会としては、毎年1回60人規模でリーダーズ研修会を開き、各部との情報交換を行っています。その結果はサマーキャン

プで発表することになっています。また、イベントごとに各部から1名ずつ役員を出すようにし、各委員会との協力も図っています。

最近では体育会に所属する人数が減り、規模が小さくなってきています。部員の勧誘等は各部に任せていますが、後期の初めには体育会全体で学生を勧誘する場を設けることができればと思っています。

学術文化連合会

会長 泉 正人さん



学術文化連合会(以下文連)の活動方針は2つあります。

まず、一つ目は文連に関係します。「各役員が自覚を持って各々の仕事を行う」

至極当然のこととは思いますが、これが成立しなければその他の方針は意味をなしません。ですので、何よりもこれを挙げました。

次に文連の存在意義の中心核をなす方針です。「所属団体の監査をする」とともに、各団体の活動が円滑に進められるように取りはかる」

具体的にはクラブフェスティバル(部・サークル活動団体の発表会)が挙げられます。これは5月20日(月)～5月24日(金)の期間に行い、所属団体は学

内でアピールできる場を作れたことが良かったと報告を受けております。

以上、2点を大きな指針にして今年度文連は活動を行ってまいります。どうぞよろしく願います。

学園祭実行委員会

委員長 小嶋一継さん



11月に行う学園祭のテーマは「WE ARE...」(私たちは...)です。実行委員だけではなく、学生、地域住民を含め全員で学園祭を造っていくかと思っています。

企画としては、サークル同士で競わせる「サークル対抗」や未完成のパズルを置き、それに参加者が手を加え完成させていくなど、参加型の学園祭にしたいかと思っています。

現在60名のスタッフがいますがまだまだ足りませんが、興味のある方はぜひスタッフとして参加してください。

留学生連合会

会長 セン セイセイさん



今年度の大きなイベントとしては、6月2日にワールドカップを記念してサッカー大会を開催しました。

参加者は韓国、台湾、中国、日本、インド、スリランカ、ミャンマー、タイなどの国々の方400人で、多いに盛り上がりました。

このほか毎月、浦安市国際交流課の依頼で、小・中・高校や目の見えない方々の所へ行き、各国の言葉や文化、食事の習慣、料理の作り方を話しに行っています。

小学校には1200人の生徒に対し20人で行き、言葉のほか、国の遊びも話しました。とても楽しく、また、小学生の日本語は難しい言葉がなくわかりやすいので、コミュニケーションも上手に図れます。

卒業アルバム制作委員会

委員長 阿部恭介さん

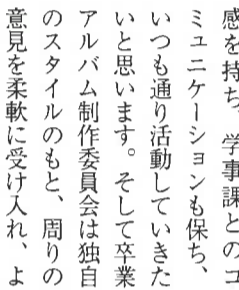
12月には昨年に続き「ワールドピース」を開催します。

今年の卒業アルバム制作委員会の人数は、7人と少人数ですが、少数精鋭でがんばります。

1年生は随時募集しています。今年の活動は、より緊張感を持ち、学事課とのコミュニケーションも保ち、いつも通り活動していきたいと思っています。そして卒業アルバム制作委員会は独自のスタイルのもと、周りの意見を柔軟に受け入れ、より良いアルバムを作りたいと思っています。

卒業パーティー実行委員会

委員長 大山はるかさん



現在はまだ企画中ですが、前回のパーティーをベースに、新メンバーで企画して

部員がいます。それだけでなく、Tシャツのデザインも制作しています。

卒業アルバムを作りながら、このような活動も平行して行っています。

活動が一通り終わってからは、本当に良かったといえる1年にしたいと思います。

VOICE-M 編集委員会

会長 中澤泰介さん

今年の編集のテーマは「人」です。人物を取り上げ、人生での成功や苦労を話してもらいます。きっとそこには読者も共感する部分があるのではないかと思います。

また、明海生の中に「こんな人物がいる」と読者に知らせることによって、読者が人を通じて明海を好きになってもらえればと思っています。

私自身は今年度で卒業するので、引継ぎのため後継者を見つけ育みたいと思っています。

卒業パーティー実行委員会

委員長 大山はるかさん



現在はまだ企画中ですが、前回のパーティーをベースに、新メンバーで企画して

新たな感動と深い出深いパーティーにしようと思っています。参加者も前回の千人より多い千二百人を目指します。早くに応募してほしいです。募集は学園祭の時期から始めたいと思っています。

また、今年度は学園祭までにはホームページを作成し、そこに参加者が意見を書き込めるようになります。パーティー当日だけではなく開催前から参加していく「参加型パーティー」にしようと思っております。ぜひ多くの方に参加してもらいたいです。

留学体験記

英米語学科4年

池田恵理子

モナツシユ大学に通い始めて最初に感じたのは、英語が話せない、聞けないということに対する挫折感でした。自分が日本で勉強してきたことはなんだったんだらう、私はこんなに英語がでなかったのかという

ことを毎日感じて生活していました。そして、毎日英語を話さなければ生きていけないことの苦しさを思い知り、そこから逃げることも考えられなくなりました。逃げることが簡単だけれど、大学から選ばれた、その責任と期待に比べようと思っ

たら自分の力でどうにかするしかないということに気づいてからは、勉強にも真剣に取り組み、前向きに勉強を楽しめるようになりました。それにつれて確実に英語力も付いてきたし、挫

中国語学科4年

善本博子



台湾に着き、まだ私は信じられなかった。これから8ヶ月この土地で生活していく自分の姿が想像できなかったから。見るもの、食べるもの、バスに乗るのも、全てが初めての経験だった。誰も自分のことを知らない土地で過ごすのはある意味快適だった。これから8ヶ月、自分次第で全てが決まってくる。全てでは自分の手にかかっているのだ。人間関係、勉強の姿勢、お金の計算、体調管理など。

折感を乗り越えた自分にも自信を持つことができるようになりました。

中国語学科4年

善本博子

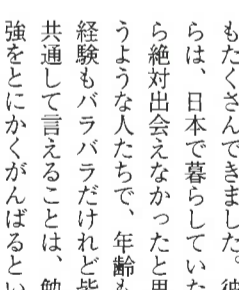
モナツシユ大学には様々な国籍の学生がいて、オーストラリアはもちろん、コロンビア、ブラジル、アルゼンチン、アメリカ、マダガスカル、スイス、ロシア、中国、台湾、香港、マレーシア、タイ、韓国、シンガポール、ベトナム、インド、インドネシア、東ティモールなどの人々と出会いました。私が彼らと他愛もない話をしたり、遊びに行ったりと、肩肘張らない自然な異文化交流をする中で一番強く感じたことは「違い」よりも「同じ」ということ

でした。又、自分のコミュニケーション力で異文化の友達を作れたことがすごく嬉しかったし、それがまた自分の自信にもなりました。もちろん、日本人の友達もたくさんできました。彼らは、日本で暮らしていたら絶対出会えなかったと思うような人たちで、年齢も経験もバラバラだけれど皆共通して言えることは、勉強をとにかくがんばるということです。海外の大学に来てはいるだけあって、皆、志や夢があって立派で、本当に尊敬できる友達に出会

えた貴重な場でもありません。帰国した今、留学をしてきた日々を振り返ると、モナツシユ大学への留学という筆舌には尽くしがたい貴重な10ヶ月間の経験の全てが今の私を形作り、また自信に繋がっていくような気がします。そして私を支えてくださった全ての方々にここで感謝申し上げます。ありがとうございました。

中国語学科4年

善本博子



台湾に着き、まだ私は信じられなかった。これから8ヶ月この土地で生活していく自分の姿が想像できなかったから。見るもの、食べるもの、バスに乗るのも、全てが初めての経験だった。誰も自分のことを知らない土地で過ごすのはある意味快適だった。これから8ヶ月、自分次第で全てが決まってくる。全てでは自分の手にかかっているのだ。人間関係、勉強の姿勢、お金の計算、体調管理など。

も利点がある。8ヶ月間8人部屋という人数で生活していくのだ。しかも、それは、私以外はみんな台湾人であるということ。毎日、彼らと一緒に過ごし、生の中国語に触れる。すると、自分で気が付かない内に彼らの言っていることがついてい聞き取れていた。最初のころは、ルームメイト同士が話している会話は私にとって雑音にしか過ぎなかった。だから、寝床についた時も、彼らの話し声など全く気にせずに熟睡できた。しかし、何ヶ月か過ぎたら熟睡などできない。彼らの話していることが全て分かるからだ。恋愛の話ともなると、口をはさみずにいられなくなるし、あそこのレストランは良かったなどという話なら聞きたくなくなる。こんなふうにはルームメイトと話しをしていて時間は私の会話力、聞く力をグングン伸ばしてくれた。

中国語学科4年

善本博子

私にとってこの8ヶ月の留学は勉強だけではなくいろいろな意味で成長できた。特に精神面が一番鍛えられたのではないかと思う。辛抱すること、周りの人の事を考える、空気をよむ、時間を守る、やるべきことはやる、感謝する...。そういった当たり前のことが日本ではできていなかった。しかし、実際に留学に来て、自分自身を見つめ直す時間が多く自分と向き合うことが苦しかった時期もあった。でも、今思えば、あの時苦しみに悩んだ自分がいたから今の自分が存在する。留学は私に大きな意味を与えてくれた。私は、あの土地で出遭った人々たちをこれからもずっとずっと大切にしていきたい。

サークル紹介

体育会

ラグビー部



関東大学ラグビーフットボール連盟の5部に入っている同部。もちろん目指すのは4部昇格だ。

強敵は、昨年加入して早くも5部に昇格した、実力的には3部クラスといわれる桜美林大学と朝鮮大学。そのライバルと戦うため日々練習に励んでいる。

とは言うものの、この部の精神は「エンジョイユアセルフ」。勝つこともいいが、「楽しんでラグビーをしよう」だ。コンタクト(ぶつかり合う)の練習は辛く苦しい時もあり、キズ、打撲は当たり前。時には靭帯を切ることも。しかし、部員の明るさ。キャラクターがその苦しさを忘れさせてくれるほど個性が



溢れている。特に武岡くんのモノマネ、ナンチャンは最高なのだそう。飲み会ともなればモノマネはもろもろ何人か裸踊りもするらしい。

週3回、約3時間の練習はコンタクトのほか、体を大きくするために筋力トレーニングを取り入れている。「ラグビーは誰にでもできるスポーツです。体格が大きければいいというものではなく、その人にあったポジションがあります。そして試合に勝つためには、いかに自分の個性を生かすか」と、12代目主将細野将さん。

今年5月下旬に行われた千葉県リーグトーナメントではベスト4に入った。連盟4部昇格は目の前なのか。「5部で1位か2位になり入替戦で勝つと4部に上がれます。8チームで争うリーグ戦ですが、桜美林、朝鮮大学以外はどこが強いのか、情報がないのでわかりません」

部員18人、マネージャー7人のラグビー部。9月下旬から始まるリーグ戦を期待したい。

クローズアップ

浦安キャンパス
I N T教育センター
堀 和秀教授



1973年、東京工業大学理学部卒業。日本航空(株)に勤務。ローマ、香港に駐在経験あり。日本航空での経験を生かして4月より「ツーリズム(観光)」関連科目の担当教授に。

日本航空(株)で約30年間のキャリアを経て、今年4月より浦安キャンパスI N T教育センター、J A L ツーリズムホスピタリティー・プログラムの教授に迎えられた。

J A L 時代は、主に国際旅客関係を担当し、世

業論、C S (顧客満足) 経営論の授業を行っている。「70%以上がサービス業といわれる現在の日本では、卒業後にサービス関係の仕事に就く確率が高くなっています。そのため、社会に出てすぐに役立つ人材育成が必要です。そこで現実社

業論、C S (顧客満足) 経営論の授業を行っている。「70%以上がサービス業といわれる現在の日本では、卒業後にサービス関係の仕事に就く確率が高くなっています。そのため、社会に出てすぐに役立つ人材育成が必要です。そこで現実社

業論、C S (顧客満足) 経営論の授業を行っている。「70%以上がサービス業といわれる現在の日本では、卒業後にサービス関係の仕事に就く確率が高くなっています。そのため、社会に出てすぐに役立つ人材育成が必要です。そこで現実社

業論、C S (顧客満足) 経営論の授業を行っている。「70%以上がサービス業といわれる現在の日本では、卒業後にサービス関係の仕事に就く確率が高くなっています。そのため、社会に出てすぐに役立つ人材育成が必要です。そこで現実社

業論、C S (顧客満足) 経営論の授業を行っている。「70%以上がサービス業といわれる現在の日本では、卒業後にサービス関係の仕事に就く確率が高くなっています。そのため、社会に出てすぐに役立つ人材育成が必要です。そこで現実社

業論、C S (顧客満足) 経営論の授業を行っている。「70%以上がサービス業といわれる現在の日本では、卒業後にサービス関係の仕事に就く確率が高くなっています。そのため、社会に出てすぐに役立つ人材育成が必要です。そこで現実社

業論、C S (顧客満足) 経営論の授業を行っている。「70%以上がサービス業といわれる現在の日本では、卒業後にサービス関係の仕事に就く確率が高くなっています。そのため、社会に出てすぐに役立つ人材育成が必要です。そこで現実社

界中の航空会社で国際線航空運賃を決める国際航空運送協会の運賃調整会議に出席していた。

本学では「ツーリズム(観光)」を中心に、ホテル業、旅行会社、航空会社の3つのサービス業における、観光学、航空事

業論、C S (顧客満足) 経営論の授業を行っている。「70%以上がサービス業といわれる現在の日本では、卒業後にサービス関係の仕事に就く確率が高くなっています。そのため、社会に出てすぐに役立つ人材育成が必要です。そこで現実社

業論、C S (顧客満足) 経営論の授業を行っている。「70%以上がサービス業といわれる現在の日本では、卒業後にサービス関係の仕事に就く確率が高くなっています。そのため、社会に出てすぐに役立つ人材育成が必要です。そこで現実社

業論、C S (顧客満足) 経営論の授業を行っている。「70%以上がサービス業といわれる現在の日本では、卒業後にサービス関係の仕事に就く確率が高くなっています。そのため、社会に出てすぐに役立つ人材育成が必要です。そこで現実社

業論、C S (顧客満足) 経営論の授業を行っている。「70%以上がサービス業といわれる現在の日本では、卒業後にサービス関係の仕事に就く確率が高くなっています。そのため、社会に出てすぐに役立つ人材育成が必要です。そこで現実社

業論、C S (顧客満足) 経営論の授業を行っている。「70%以上がサービス業といわれる現在の日本では、卒業後にサービス関係の仕事に就く確率が高くなっています。そのため、社会に出てすぐに役立つ人材育成が必要です。そこで現実社

業論、C S (顧客満足) 経営論の授業を行っている。「70%以上がサービス業といわれる現在の日本では、卒業後にサービス関係の仕事に就く確率が高くなっています。そのため、社会に出てすぐに役立つ人材育成が必要です。そこで現実社

業論、C S (顧客満足) 経営論の授業を行っている。「70%以上がサービス業といわれる現在の日本では、卒業後にサービス関係の仕事に就く確率が高くなっています。そのため、社会に出てすぐに役立つ人材育成が必要です。そこで現実社

放送研究会

……マルチメディアスタッフ



千葉商科大学など県内大学の放送研究会が所属する千葉県5大学連盟会に加盟し6月と12月に発表会を行っている

部員は6名。2年程前までは、D J (アナウンス)、映像、音楽の3つにわかれて活動していたそうだが、現在はデジタル機器を使用した、映像に関する企画・制作を活動の基盤としている。

最近の作品では、ラグビー部が新入生歓迎会のときに流したプロモーションビデオ。軽快な音楽と部員の生き生きとした表情が映し出される映像。そして試合のワンシーンを盛り込むな

英語が好きなのと、流暢に英語が話せるようになったら、英米語学科に入

最初は日本語教師になりたいと思っていましたが、段々と国語の教師にもなりたいと思い、明海大学の日本語学科なら、どちらにも挑戦できることがわかり入学しました。

高校時代は、大学に入ってもドラマの出来事のような、楽しいことがあまり膨らませないようにしよう、

新入生に聞く!

4年間に向かって



不動産学科 岡本賢司さん

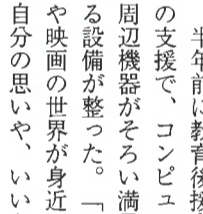
不動産学部に入學した理由は、不動産学部だと経済・経営と少しだけ法律を学ぶことができ、将来的に知識が身につくと思いました。そして4年間で不動産の知識の基礎を固めたいと思っています。



日本語学科 宮田靖子さん

最初は日本語教師になりたいと思っていましたが、段々と国語の教師にもなりたいと思い、明海大学の日本語学科なら、どちらにも挑戦できることがわかり入学しました。

高校時代は、大学に入ってもドラマの出来事のような、楽しいことがあまり膨らませないようにしよう、



中国語学科 杉山裕子さん

以前から中国語に興味があり、中国語学科に入學しました。



経済学部 近藤与士郎さん

経済に関する勉強をしたいと思っていました。そして、実家から通学できる範囲内で大学を探していました。

高校では理系で進んでいましたが、2年生の時から漠然と経済学を学びたいと思うようになりました。

留学生連合会主催 サッカー大会!

スポーツ交流に 約400人が参加



参加した国と地域は韓国、台湾、中国、日本、香港、インド、スリランカ、ミャンマー、タイなどで、全12チームがトーナメント戦で熱い戦いを繰り広げた。



6月2日(土) 明海大学内グラウンドで、留学生連合会主催のサッカー大会が行われた。



「早期化」と「厳選採用」がさらに顕著 2001年度の就職戦線を総括

就職協定廃止や長引く景気低迷によって、大学生の就職環境の厳しさは依然、続いている。学事課就職支援の山本昌男主任に、2001年度の本学学生の就職活動を振り返っていただいた。

厳しいと言われ続けてきた就職戦線だが、「今年度、企業の新規卒業者の採用は前向きだった」と振り返る。実際、厚生労働省と文部科学省の調査によると、今年4月の新卒者の就職率は92.1%で、前年同期を0.2ポイントとわずかずかではあるが上回っている。男女別に見ると、男子は92.5%（同0.2ポイント増）、女子は91.5%（同0.3ポイント増）。本学でもほぼ同じような結果となっている。

わずかながらも上向いたのは、「相変わらずリストラなど、企業ではスリム化の努力が続いているが、若い力に期待する動きがでてきたもの」。また、「特にIT関連では高い求人意欲を見せた企業もあった」と話す。明るいムードもあった就職戦線だが、実際には企業の採用基準が高く、定員に満たなくても、レベルに達していなければ採用しないという厳選採用の傾向はますます強くなっている。その結果、複数の企業から内定をもらえる学生と、なかなか内定をもらえない学生との2極化がさらに顕著に。その一方で、就職意識が低い学生が増えているのも事実。「フリーター」という存在が、それほど奇異に映らなくなったこと、「納得しない企業へは、無理に就職しなくても構わない」という物わりのよい親が増えていることから、「フリーターでもよい」と考える学生が増えているようだ。

就職活動では

大学での4年間で問われる

すでに、2002年度の就職活動はスタートしている。今年度の採用活動はさらに選する傾向が強まっている。最近、インターンシップという言葉が聞かれるようになった。これは、学生の間に企業内で社員同様に働く機会を得ることができ、学生の身分のまま一定期間企業でワーク体験をし、その時間や成果は、単位認定されるという、インターンシップ・プログラムが導入されている。この制度を利

一人一人の学生を大切に する学生支援を

学生部長・経済学部教授 中嶋 隆一先生

今年4月から、学生部長に就任した。サークル活動や学内の行事など、勉強以外の大学生活をサポートするのが主な仕事で、時には、学生の起こした事故の事後処理にあたることもあるという。

「大学づくりの基本となるのは、一人一人の学生。できる限り学生支援に努めたい」と話す。中嶋先生は、混雑とした大学の創生期に、第1回サマーキャンプを開催したり、海外の大学との姉妹校提携などに奔走している。現在ある学生支援の基礎づくりの一翼を担った。

明海大学設立当初からのメンバーで、学生部長に任命された時、「明海大スター



48歳。明治大学大学院経営学研究科博士後期課程単位取得退学。明治大学講師を経て、平成元年から明海大に。同10年から12年に、スイスチューリヒ大学に留学。専門は国際会計論。著書には「国際会計論」(共著)、「会計の戦略化」(編著)などがある。趣味は旅行と料理。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

インターンシップ制度の活用を

最近、インターンシップという言葉が聞かれるようになった。これは、学生の間に企業内で社員同様に働く機会を得ることができ、学生の身分のまま一定期間企業でワーク体験をし、その時間や成果は、単位認定されるという、インターンシップ・プログラムが導入されている。この制度を利

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

就職に有利?

最近、インターンシップという言葉が聞かれるようになった。これは、学生の間に企業内で社員同様に働く機会を得ることができ、学生の身分のまま一定期間企業でワーク体験をし、その時間や成果は、単位認定されるという、インターンシップ・プログラムが導入されている。この制度を利

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

2002年度 就職指導スケジュール

このスケジュールは、2002年度の就職指導の目安です。各学部・学科の状況により、一部変更される場合があります。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

就職支援TOPICS

将来を見据えたキャリア形成新プログラム導入

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

編集後記

国際交流を
深めよう!

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

2002年3月卒業生の主な就職先

（電気・ガス）セントラル石油瓦斯（建設・不動産業）ペイントハウス、扶桑レクセル、西松建設、中央住宅、千葉ミサワホーム、大和ハウス工業、大東建設、新日本建設、オンテックス、レオパレス21、大倉建設、オークラヤ住宅、菱和ライフレイト、山万、明和地所、長谷工アーベスト、ハウスメイト管理、野村リビングサポート、日本総合地所、日神不動産、藤和不動産流通サービス、地産トーカー、ダイア建設、住友不動産販売、スターツアメニティ、スターツ、ジョイントコーポレーション、グローベルズ、大倉建設、エム・シー・コーポレーション、エム・エフ・ビルマネジメント（製造業）沢井製薬、東京めいらく、正栄食品工業、伊藤園、光岡自動車、大和冷機工業、竹田印刷、コム・デ・ギャルソン、吉野工業所、丸八真綿、サンリオ、東洋化学（卸・小売業）高瀬物産、大郡魚類、ミドリ安全、三井物産プラント、トラスコ中山、滝川、ブリヂストンタイヤ千葉販売、ジプロ、明光商会、ダイワボウ情報システム、ホンダベルノ東京、ホンダクリオ中央、日産プリンス東京販売、東京三菱自動車販売、東京日産自動車販売、千葉トヨタ自動車、ジャガー東京、ガリバーインターナショナル、ラムラ、日本マクドナルド、日本ケンタッキーフライドチキン、東天紅、大庄、ダイオーズ、ゼンショー、西洋フードシステムズ、すかいらーく夢庵カンパニー、すかいらーくパーミヤカンパニー、シャノール、グルメドール、グリーンハウス、オリジン東秀、ワールドストアパートナーズ、リオチェーン、はるやま商事、ジーンズメイト、コナカ、エディー・パワー・ジャパン、青山商事、ニトリ、島村楽器、島忠、コジマ、カワチ薬局、大塚家具、マルヤ、マルエツ、フレック、コメリ、ケーヨー、Olympic（運輸・通信業）マップインターナショナル、エイチ・アイ・エス、オークネット、ヤマト運輸、第一貨物、ソクハイ、佐川急便、航空集配サービス、川崎航空サービス（金融業）日本生命保険相互会社、大同生命保険相互会社、友友生命保険相互会社、東京信用金庫、佐原信用金庫、水戸証券、東洋証券、みずほフィナンシャルグループ、京葉銀行、UFJカード、武富士、JALカード、アコム、アイク（サービス業・非営利団体）テレビ朝日映像、東京商工リサーチ、日本電子計算、トランスコスモス、電通国際情報サービス、ソフトウエア興業、ネクシィーズ、キャッツ、西尾レントオール、太陽建機レンタル、オリックスオートリース、舞浜リゾートホテルズ、プラザサルート、東洋観光事業、帝国ホテル、九段会館、早稲田アカデミー、明光ネットワークジャパン、ノヴァ、東京個別指導学院、ジオス、アピバコーポレーション、ピーエイ、テンスタッフ（公務員・教員）浦安市役所、千葉県警本部、警視庁

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。

「学生も教職員も、共通の目的に向かってがんばっているという一体感が感じられた。その頃に比べると、今の学生は少し元気がない」と心配する。